

地質ニュース目次

No. 56 ~ No. 67

(1959年度)

〔地質〕	No.	〔海外事情〕	
千葉県工業用水	56	イギリスの地質調査所	59
京都市工業用水	57	アフガニスタンの地質と鉱産物(1)	60
塩水化する日本の国土	58	パキスタン地質調査所	61
急がれる適切な井戸管理	63	インドネシアから帰って	62
関東平野中央部の地下水源	64	ヨーロッパのウラン鉱山	63
産業の拡大か国土の保全か	65	カナダとアメリカの印象	65
私達の生活と地質(9) 国土の開発と地質図	56	インドの地質調査所	66
車窓展望 函館本線(2) 室蘭本線	58		
“ 上信越線	62	〔写真とその解説〕	
地質調査所の標本(8) 石膏	57	層理	57
“ (9) 重晶石	67	現場の朝	58
目で見える地学 花崗岡(1)(2)	60. 66	奥地調査の移動馬車	59
		エロージョン	60
〔鉱床〕		自然の造形	61
日本の金銀鉱床	56	オー スゴイ カウントだ	62
出雲砂鉄のものがたり	56	大井川の蛇行	63
新金属の躍進とその資源(1)(2)(3)	59. 60. 61	雪中の地質調査	64
わが国の金属鉱物資源と埋蔵鉱量	61	侵蝕	65
石灰石(1)(2)	62. 64	地すべり面	66
わが国のマンガン鉱床	63		
未利用鉄資源開発調査		〔出版〕	
(第一次計画の成果と第二次計画)	64	地質図幅(5万分の1)「小清水」「敏音知」「稲取」「金沢	
世界の鉄鉱埋蔵量(1)(2)	66. 67	「都井峠」「鉄肥」各説明書付	63
水銀	66	地質図幅(20万分の1)「石巻」	63
オリビン・サンド	67	地質調査所月報	Vol. 10 No. 2, 3
		“	Vol. 10 No. 4, 5
〔燃料〕		“	Vol. 10 No. 6
油徴とはどんなものか(1)(2)	57. 58	“	Vol. 10 No. 7
島原半島周辺の海陸総合調査(地質調査)	59	“	Vol. 10 No. 8
砂岩の中の重鉱物	61	“	Vol. 10 No. 9
油田地帯のウラン鉱床	62	“	Vol. 10 No. 10
南関東のガス田	64	“	Vol. 10 No. 11
花粉と胞子の化石	65		
〔物理探査〕		〔お知らせなど〕	
島原半島周辺の海陸総合調査(重力探査)	59	昭和33年度出版物一覧	56
磁気録音式地震探鉱器	60	地質ニュース目次(No. 1~55 特集 No. 1~11)	56
スーパーカーによる有明海の調査	64	沢田・中沢両技官アフガニスタンより帰国	57
東京タワーの重力測定	64	四国駐在員事務所移転	57
松川地熱地帯の物理探査	65	斎藤地質部長オーストラリアへ出張	58
		サラワクよりテオチャイコイ氏研修のため来所	58
〔測量・試錐・化学・地球化学・工作〕		蔵田工業用水課長アメリカ合衆国へ	59
島原半島周辺の海陸総合調査(測量)	59	人事往来(34年4月~6月)	59
海底ボーリングのいろいろ	57	兼子地質調査所長 アメリカ・カナダ両国へ出張	60
自動資料交換装置について	56	斎藤地質部長帰国	60
工業用水分析法の委せん	59	関根良弘技官西ドイツより帰国	60
最近の化学探鉱	59	ビルマ留学生タントンチェン氏研修のため来所	61
天然における安定同位元素の片寄り	59	地質調査所出版物をお求めの方へ	61
硫化鉱物の微量成分	63	地質調査所窓口案内	62
石炭薄片の作り方	64	兼子所長帰国	63
〔その他〕		人事往来(34年7月~9月)	63
昭和34年度事業計画と調査予定地一覧図	56	陳志賢氏研修のため来所(中華民国)	64
三島熔岩トンネル	58	陶山技官 フランスより帰国	64
秋の気象と地質調査	62	テオチャイコイ氏帰国	64
天然記念物(1)	67	佐藤物理探査部長バンコックへ出張	65
		早川課長インドへ	65

「おことわり」 昭和34年度のバックナンバー在庫はありません。 「訂正」 No.66(1960-2)の10頁右側上から6行目の「含水銀四面銅鉱(?)」は削除します。